

地域向け広報誌
2021.春

第56号

国民健康保険
小松市民病院

ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとは
サンスクリット語で
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

基本理念

共に歩む



基本方針

- 患者さんの人権と権利、そして思いを尊重します
- 安全で安心な急性期医療、がん医療、予防医療を推進します
- 救急医療の充実に努めます
- 地域の医療・介護・保健機関とつながる医療を行います
- 職員の働きがいのある職場を目指します

安心、安全な医療をお届けしたい!

この2月に「病院機能評価」の認定合格通知が届きました! 写真はその病院機能評価の「認定証」です。

「ずーっと頭が痛いなあ。病院に行こうかな。」と思った時、「よい病院に受診したい」という気持ちになりませんか? しかし、どこの病院がよいのかを知ることには簡単でしょうか。その問題を少しでも解決しようというのが「病院機能評価」です。これは、安心・安全、そして質の高い医療を提供できる病院かどうかを、第三者機関が評価認定するものです。認定を受ける究極の目的は、“皆さまに安心・安全で良質な医療を確実にお届けすること”にあります。

いろんな場所で、さまざまな認定証を見かけます。例えば、インストラクター、こまつもんブランド認定、ギネス世界記録、などです。それらの「認定証」は、認定対象となる技能・技量に関して中立的立場の団体が、一定の能力や資格があることを認めて、公表できるようにしたものです。その病院版が病院機能評価の認定です。

審査は病院の理念、診療から医療廃棄物・清掃に至るまで厳しく吟味されます。6名の専門審査員が当院に訪問し、2日間かけて審査をします。受審準備におよそ1年。加えて、運転免許証の更新のように、病院機能評価も5年毎の認定更新が必要です。当院では今回、5回目の認定更新となりました。コロナで大変な時期でしたが、前回よりも評価がアップしたことは誇らしいことと感じています。

時代の流れとともに病院に求められる機能は変わってゆきます。変化に柔軟に対応し、時代にマッチした病院へと変わって行かねばなりません。今回の認定更新に満足せず、わたしたち小松市民病院は市民の皆様に安心、安全で質の高い医療をいつでもお届けできるよう日々努力してまいります。これからも皆様からの厳しいご意見をお寄せください。よろしくお願いたします。



認定証はエントランスに掲示されております。ぜひ、ご覧ください。

国民健康保険 小松市民病院
に っ た ひ さ し
病院長 新多 寿



がん診療連携拠点病院について

小松市民病院 診療部長(消化器内科) 又野 豊

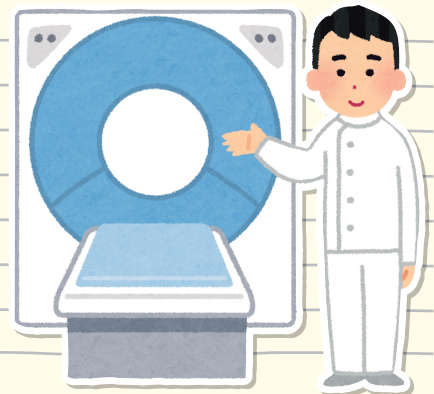
以前、いろいろながんに対する治療は、専門家がそろった都会の病院と地方の病院との間で治療の効果に大きな差があり、それが問題となっておりました。そのため、国は全国どこでも質の高いがん医療を提供できるようにするために、「専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院」として全国にがん診療の拠点病院を設けました。当院は平成19年1月31日に、南加賀地区唯一の地域がん診療連携拠点病院に指定され、これまでがん全般にわたる活動をしてまいりました。

地域がん診療拠点病院の活動内容(指定要件)としては主に以下の様なものがあります。

- ①種々のがんに対する手術療法、放射線治療および抗がん剤による薬物療法を効果的に組み合わせた治療(集学的治療)の提供
- ②がんが判明した時点から、がんに対する肉体的、精神的、社会的な苦痛に対する情報を収集し、その苦痛を和らげるための対策の提供(緩和ケアを含む)
- ③がん患者さんのがんの内容、治療に関する情報の国への届け出(がん登録)
- ④がんに関連した臨床試験や治験への参加、登録
- ⑤地域の医療機関との連携の推進、情報共有
- ⑥セカンドオピニオン(診断および選択・施行された治療法に関する、第三者的な立場での医療上の意見の提示)の提供
- ⑦がん相談支援センターの設立、及び、そこでのがん患者さんの療養や就労にまつわる問題、治療費用などの経済的な相談を含めた、がん全般にわたる相談の受付、情報の提供

当院では、現在放射線治療装置を新しいものに更新するために放射線治療を休止しておりましたが、2021年3月末から治療を再開予定です(詳細は6~7ページ目に記載してあります)。

これからも、地域の皆様に安心してがんに対する検査や治療を受けていただけるよう努力して参りたいと思います。





メディカルレポート

外来化学療法室

がん化学療法看護認定看護師
外来看護師長

城座 圭子

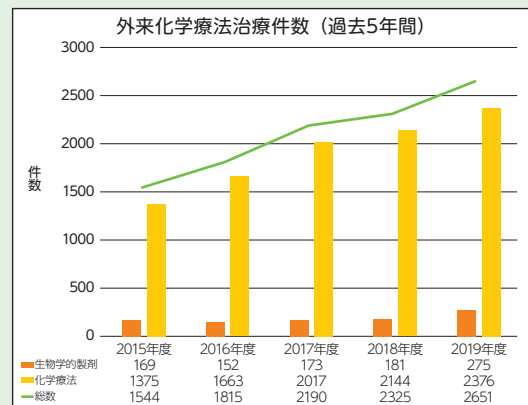
外来化学療法とは

- がん患者さんに対し一般的に抗がん剤を使用した治療を行うことを「化学療法」といいます。
- 化学療法薬には、殺細胞性抗がん剤、分子標的治療薬、ホルモン剤や免疫チェックポイント阻害剤などがあります。以前は化学療法のほとんどが入院で行われていましたが、副作用を軽減する治療法の進歩や患者さんが日常生活や社会生活を行いながら治療を継続できるなどの理由から、現在その多くが外来で行われるようになってきました。
- このように外来で行う抗がん剤治療のことを、「**外来化学療法**」といいます。当院では、2003年より外来化学療法専用治療室である「外来化学療法室」を開設し、2013年に場所を移動し、ベッド3台、リクライニングチェア11台を配置しています。



外来化学療法室の実績

- 外来化学療法室では、肺がん・乳がん・消化器がん（大腸がん・胃がんなど）・卵巣がん・前立腺がんなどの悪性腫瘍の治療と、関節リウマチ、クローン氏病、ベーチェット病、潰瘍性大腸炎などの自己免疫疾患に対する生物学的製剤の治療を行っております。
- 毎年増加傾向にあります。2020年は外来化学療法室の感染予防対策を見直し、通院の患者さんにも感染予防行動を実施して頂きながら、安全に約2700件の外来化学療法を実施しました。



チーム医療：多くの職種と協力して支援

- 新薬の登場などで化学療法の治療成績は向上しています。これはとても良いことですが、患者さんは副作用や治療費の心配、コロナ感染症が怖いなど多くの心配や不安をかかえています。
- 主治医と共に、専門資格を有する薬剤師、看護師を中心に、チーム医療で支援しています。外来化学療法室の看護師は患者さんから副作用症状や心配事、自宅での様子をお伺いし、生活の中で気をつけること、薬の飲み方、どのような時に病院へ連絡が必要かなど、患者さんが自宅で治療を継続するための指導を行います。また治療で生じる外見の変化（脱毛・皮膚の変化）などについての情報提供を行っています。治療費や働けない間のお金の問題などは、医療ソーシャルワーカーと連携し、患者さんがすこしでも安心して療養生活を送ることができるよう支援しています。



がんを抱えた方へ～薬剤師がサポートします～



薬剤師 桂英之

《抗がん剤の治療について》



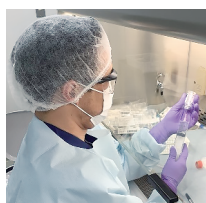
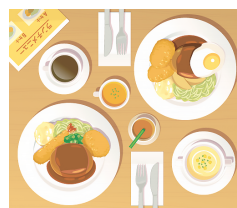
抗がん薬は、ほとんどの患者さんで副作用が現れます。しかし、最近では副作用の対策が進歩し、日常生活を送りながら治療ができるようになってきました。そのため、効果を最大限に、副作用を最小限にして治療ができるように医師だけではなく、看護師、薬剤師も協力し「チーム」となって患者さんをサポートしています。



その中で、薬剤師が薬の専門家としてどのように関わっているかを紹介します。

1. レジメンの作成と管理=レシピを作り、安心・安全に薬を届ける!

抗がん剤の治療は、色々な薬の組み合わせ・投与量・投与方法等を考える必要があります。非常に複雑です。そのため、「レジメン」と言われている計画書(料理におけるレシピ)を作成し、それに沿って治療を行う必要があります。このレジメンは世界中の最新の情報を確認し、薬剤師が中心となり作成しています。更に、レジメンがその患者さんにとって適切かどうかもしっかりと確認しています。



2. 抗がん薬の調製=正確+清潔に薬を準備する!

抗がん薬はほんの少しの量の違いによって、重大な副作用が現れる可能性があります。そのため、正確な薬の量を清潔に準備するために、複数の薬剤師で間違いがないかを確認して、写真の様な方法で患者さん毎に薬剤を準備しています。

3. 服薬指導=うまく付き合うためのサポート

患者さんに治療のスケジュール、副作用やその対策方法などを分かりやすく説明することも、薬剤師の重要な仕事です。また患者さんが薬とうまく付き合えるように、副作用対策の強化や投与量の調節なども、医師、看護師等と相談しながらサポートを行っています。



当院のがん認定薬剤師(高田直子)・がん専門薬剤師(桂英之)も頑張っています!



がん薬物療法のスペシャリストです。多くの抗がん剤に関する知識を備え、当院の抗がん剤の管理や、病院外の医療従事者の教育や情報提供を行っており、地域のがん患者さんがより安心・安全に治療が行えるようにサポートしています。

がん認定薬剤師
(高田直子)



がん専門薬剤師
(桂英之)





新型コロナウイルス感染症対策が必要なこの時期に、 いのちに関わるような病気で入院中の、患者さんのご家族にお伝えしたいこと

緩和ケア認定看護師 木戸口 勝巳

新型コロナウイルスワクチン接種の開始など、新たな対策も徐々に進んでいますが、現在も入院病棟では面会制限を継続しています。面会制限の中で、患者さんとそれを支えるご家族が、「つながり」や「きずな」を感じていただけるように、ご家族にお伝えしたいことをご紹介します。

1. ご家族もできる限り感染を予防してください

- ① できるだけ外出(特に県外への移動)や会食・会合などを控え、人との接触を減らす
- ② こまめに手指をハンドソープで洗う
- ③ 会話する時にはマスクを着用する

このことは、医師の説明など医療スタッフからの要請で病院を訪問する場合にも非常に大切です。万が一、患者さんの状態が変化した場合にもすぐに病院に行けるように、普段からの感染予防は患者さんのためにもとても重要です。



2. スマートフォンやタブレットの使用について

入院病棟でフリー WiFiが受信できるのは、病棟ラウンジとその周辺の範囲ですが、各社の携帯電波は病室でも受信できます。タブレットやスマートフォンなどによって動画や声によるメッセージを届ける方法もあります。

3. ご家族の写真・メッセージカードやノートのやりとりで想いを伝えてみませんか?

入院病棟ではご家族が患者さんにお会いすることが難しくなっています。しかし、患者さんはご家族のことが気になっておられると思います。携帯電話やSNSが苦手な方でも、「交換日記」のようなもので、文字で気持ちを伝えるのはいかがでしょうか。



4. 患者さんのことをたくさん教えてください

医療スタッフは可能な限り患者さんの希望に沿った支援をしていきたいと思っています。患者さんの大切にしておられること、気がかり、好きなものなどを私たちに教えてください。

5. 退院されて、ご自宅で最期を迎えられる方もおられます。 可能ならご自宅での療養を検討されませんか?

面会制限は残念ながらしばらくは続きそうです。このため、人生の残り時間が短い時期に、ご家族と離ればなれになってしまうかもしれません。

病棟スタッフや医療ソーシャルワーカーにご相談の上で、お住まいの地域の在宅医療・介護サービスを利用して、ご自宅での療養を検討されるのも一つの方法かもしれません。

患者さんにご家族にとって、かけがえのない大切な時間となるよう、私たちもお手伝いいたします。

私たちも、1日も早く従来のように患者さんご家族の方が、自由に面会できるようになることを、心待ちにしています。

※この内容は下記団体から発行されているリーフレットをもとにしています。興味のある方は、インターネットで「緩和ケア.NET」と検索してみてください。参考になる多くの情報が載せられています。

緩和ケア.NET



厚生労働省委託事業緩和ケア普及啓発活動
特定非営利活動法人日本緩和医療学会

JSPM
日本緩和医療学会



放射線治療装置(リニアック)更新のお知らせ

中央放射線科長 吉田 朝和

当院は金沢大学附属病院、金沢医科大学、石川県立中央病院、金沢医療センターとともに、平成19年に厚生労働大臣から石川県のがん診療連携拠点病院に指定されました。令和3年4月から、新しい装置での稼働を予定しています。

現在南加賀地区唯一の拠点病院として、各種がんに対する治療に取り組んでおります。当院では、乳がん術後の予防照射や、前立腺がん、喉頭がん、肺がん、食道がんに対する治療目的の照射、がんによる痛みをとるための緩和照射、またケロイドなどの良性病変に対する照射も行っています。

装置名：VERSA HD エレクタ社製

装置の機能：光学式リアルタイムモニタリングシステム：Catalyst

高精細マルチリーフコリメータ：Agility

kV イメージングシステム：XVI、4D コーンビームCT

6軸補正治療寝台：HexaPOD evo

高線量率モード：FFF

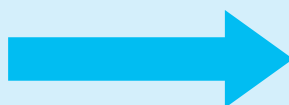


新しい機能の紹介

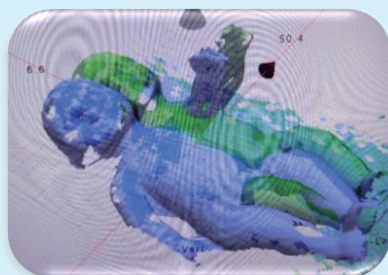
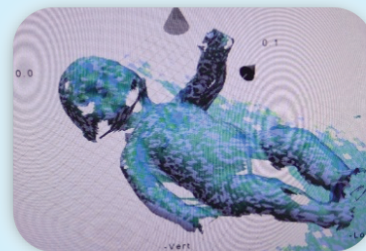
①体表面での位置合わせ

【光学式リアルタイムモニタリングシステム：Catalyst(カタリスト)】

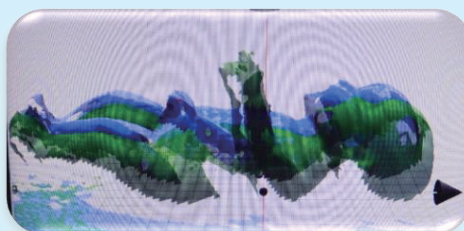
体の表面のデータを作成し、治療の際にプロジェクションマッピングのように体の表面に光を投影して位置を合わせるシステムです。これを利用し、部位によっては体に付ける印を無くすることも可能になります。



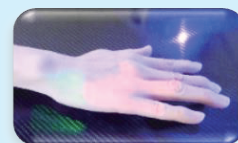
治療する体位の
データを作成



ずれている部分を画像と体表面を見ながら体を動かして合わせる



画面では様々な角度から確認できる



体の表面にも赤や黄色で合っていない部分が投影される

②強度変調放射線治療：IMRT機能の搭載

装置の高性能化に伴い、複雑な形を作り放射線の強さを変えての照射が可能になりました。放射線を腫瘍により集中して当て、腫瘍の周りの正常な臓器には少なくなるような治療となります。腫瘍の周辺の正常組織に当たる放射線が少なくなることで、副作用のリスクを下げることができます。こちらは準備が出来次第運用の予定です。



他にも治療の直前にCTを撮り、骨や臓器で放射線を当てる位置を合わせたりする機能やベッドがミリ単位で自動に動く機能があります。これらにより、より精度の高い放射線治療を提供できるようになります。



ANNUAL MUNICIPAL
OFFICERS AWARD 2019

小松市職員アニュアルアワード2020

小松市職員アニュアル・アワード2020において、当院の感染症病棟・発熱外来・南加賀救急医療センターの3部門が、最前線での新型コロナウイルス感染症の対応が評価され、受賞しました。



感染症病棟



発熱外来



南加賀救急医療センター

栄養だより

当院では緩和的治療をされている方を対象に、なごみご膳を提供しています。なごみご膳は量・盛り付け・食器など見た目に配慮し、少しでも良好な食事摂取をして頂けるように工夫しています。2週間のサイクルメニューになっています。

【なごみご膳 献立表】

管理栄養士 彦野 小百合

朝	〈おにぎり食〉		〈パン食〉				
	ごはん（おにぎり、お粥） おかず 味噌汁 果物 牛乳		ミニジャムサンド （食パン、ロールパン） 副菜1品 プリン 果物 牛乳				
	日	月	火	水	木	金	土
昼	親子丼 うどん汁 果物盛合せ 	冷そうめん 茶碗蒸し 果物盛合せ 	ごはん カレーニエル 焼きなす 果物盛合せ 	細巻寿司・押し寿 司盛合せ 炊合せ 果物盛合せ 	三色丼 うどん汁 果物盛合せ 	サンドイッチ ヨーグルト ポタージュ 果物盛合せ 	牛丼 和えもの 果物盛合せ 
夕	焼きそば 炊合せ 冷トマト 	ごはん ハンバーグ 長芋の梅肉和え 	雑炊(野菜・しらす) しゅうまい 茶巾絞り 	オムライス 冷やっこ 浸し 	カレーライス サラダ エンジョイゼリー 	ちらし寿司 友庵焼き そうめん汁 	いなり寿司 焼き魚 浸し 
	日	月	火	水	木	金	土
昼	お好み焼き うどん汁 果物盛合せ 	ナポリタン マヨサラダ 果物盛合せ 	チャーハン 豆腐のきのこあんかけ 果物盛合せ 	細巻寿司・押し寿 司盛合せ 炊合せ 果物盛合せ 	焼肉丼 うどん汁 果物盛合せ 	ホットドッグ ヨーグルト ポタージュ 果物盛合せ 	チキンライス 炊合せ 果物盛合せ 
夕	ハヤシライス サラダ エンジョイゼリー 	そば 茶碗蒸し 長芋の梅肉和え 	カツ丼 和えもの 茶巾絞り 	ごはん クリームコロッケ しゅうまい 	カレーライス サラダ エンジョイゼリー 	卵寿司・細巻寿 司盛合せ 友庵焼き そうめん汁 	手巻き寿司 ステーキ 浸し 

編・集・後・記

桜の季節となりました。昨年からは新型コロナウイルスの流行もあり、お花見宴会はできませんが、新緑の木々を見上げて、春の風を感じてみるのも良いと思います。ワクチン接種も始まります。早く新型コロナウイルスの終息を願うばかりです。(東)



国民健康保険 小松市民病院



〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60番地
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp